

GIGA スクール構想の
推進についての提言書

令和 4 年 12 月

阿 見 町 議 会

子どものうちから ICT に慣れさせることを目的に始まった国の GIGA スクール構想。阿見町でも 1 人 1 台端末が整備され、GIGA スクール構想が始まった。しかし、学校における教育の ICT 化の時代からも全国で地域間格差が生じていたが、新型コロナウイルス感染症により、一層地域間の格差が拡大した。

GIGA スクール構想の実現に向けた ICT 環境は、確実に整備されているのか。ICT 支援員や GIGA スクールサポーターは十分に活用されているか。GIGA スクール構想によって、教師、児童・生徒の力は最大限に引きだされているか。指導体制はしっかり整っているか。プログラミング教育は進んでいるか。教員の働き方改革は進んでいるか。など、阿見町でも多くの課題が浮き彫りになった。

このため、着実な GIGA スクール構想の実現に向け、以下の内容を提言する。

記

1. GIGA スクールサポーターや ICT 支援員を積極的に活用し、保護者を交えたネット勉強会や子ども達のネットリテラシーやマナー教育を充実させること
2. 教育関係者の先進地への積極的な公費視察を実施するとともに、定期的効果的な研修を実施すること
3. GIGA スクール構想の整備は感覚ではなく、文部科学省作成の各種チェックリストを活用した指標やデータによる整備に変更し、将来の更新費用も含めた予算措置をしっかりと講ずること
4. 文部科学省派遣制度 ICT 活用教育アドバイザーによる現状確認と分析により、町への助言を受け抜本的な対策を講ずること

以上